

笠間市は、将来像を“文化交流都市 笠間 ～未来への挑戦～”  
と位置づけ、まちづくりへの「挑戦」を続けています。

特集

# 未来への挑戦

## 令和5年度 施政方針

新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月に国内で確認されて以降、新たな変異株の出現と計8回の感染拡大を繰り返してきました。

政府は5月8日付で、現在の「2類相当」から、季節性インフルエンザと同様の「5類」に引き下げの方針を決定しました。コロナ対策は大きな転換点を迎え、ウィズコロナ、そしてアフターコロナへと移行していきます。

人口減少をはじめとした社会状況を背景として、日常生活と地域経済の双方における課題も多様化、複雑化を続けています。これらの課題の解決を図る上では、行政と民間、また分野を超えた複合的な対応が求められていると同時に、漠然とした不安を解消し将来に期待が持てるようなまちづくりを進めて行く必要があります。

令和5年度は「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として設定した上で、特に

KASAMA CITY

「子ども・子育て徹底応援」「女性活躍」「台湾交流新ステージ」を重点プロジェクトとした施策を展開するとともに、引き続き感染症や物価高騰等への機動的な対応、さらには行政運営の仕組み改革を含めた持続する日常生活と地域経済の環境構築に向けた取り組みを強力に推進します。

現在、新型コロナウイルス感染症や地球温暖化による気候変動への対応など地球規模の課題、先行き不透明な社会経済情勢、デジタル化の急速な進展など、経験したことのない時代を迎えています。こうした時代に、笠間の未来を創るため、多くの課題に対し、常にスピード感をもって、柔軟かつ的確に対応するとともに、市民の皆さまのニーズに応える施策、そして新たな時代を見据えた、将来につながる施策を確実に推進していきます。

## SDGsってなに？

笠間市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

17のゴールと169のターゲットで構成され、日本としても積極的に取り組んでいます。

市では第2期笠間市創生総合戦略において、横断的な取り組みの強化の観点から、SDGsを原動力とした施策と事業の推進を位置づけ、さらなる取り組みの充実を図っていきます。今年度の重要事務事業においても、SDGs各目標のアイコンを使いながら関連性をお伝えします。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 笠間市の財政状況をもっと知ろう！

市ホームページで、より詳しい財政状況を確認できます。  
ホームページ内の検索窓で  と検索



令和5年度は

## 「未来に向けた笠間市づくり」 — 持続的な日常生活と地域経済の環境構築 —

第2次笠間市総合計画で定める将来像「文化交流都市 笠間～未来への挑戦～」に向けて、51事業を令和5年度の重要事務事業としました。

今年度は、多様な人材の確保、デジタル化の深化、脱炭素社会の推進を継続的な視点としながら、「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として設定し、全分野が一体となって、感染症や物価高騰等への機動的な対応とともに、仕組みの見直しを含めた持続する日常生活と地域経済の環境構築に向けた取り組みの強化を図ります。

その中で、「笠間まるごと子育て都市宣言」「女性（かさまち娘）応援」「台湾交流・深化」の3つを重点プロジェクトとして、子育てやチャレンジする女性の応援策などを展開します。

### ひと 若年から子育て世代の活躍促進と多様な人材の確保

教育、福祉、産業、都市基盤、移住・定住といった全分野において若年層、子育て世代を引き付ける取り組みを強力に推進します。また、さまざまな機関との連携やデジタルの力を活用しながらきめ細やかなサービスの提供と多様な人材を受け止める体制の構築を図ります。

### もの 稼ぐ力の強化による地域経済の活性化

栗など市の魅力ともなる産業の域外からの経済流入および地産地消など域内での経済循環の双方の促進を図ります。また、茨城デスティネーションキャンペーンなどを契機とした交流人口の増加を経済効果に結びつける取り組みと人材確保策と連動した地域経済対策を推進します。

### まち 持続・成長を促進する都市基盤の整備と活用

人材育成・確保策、産業振興策の課題と連動して、空家や公共施設などの既存ストックを活用した場所の活用策を公民連携により展開します。また、有事に対応する強靱化、混雑緩和、駅周辺の魅力向上や既存拠点の効果向上など、未来に向けた都市基盤の形成を図ります。

## 重点プロジェクト

- 笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクト
- かさまち娘応援プロジェクト
- 台湾交流・深化プロジェクト



# 重要事務事業と

# 令和5年度予算

重要事務事業の一部をピックアップして紹介します。  
※51事業は市ホームページでも紹介しています。ただし、一部掲載順がホームページ上のものと異なります。

## 令和5年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた令和5年度の予算総額は、600億1,390万9千円となっています。

予算編成にあたり、人口減少や少子化・高齢化の進行による社会保障関連経費の増加に加え、物価高騰の影響による公共施設の維持管理経費や各施設の更新経費の増、また地域経済の活性化、脱炭素社会の実現などの課題があげられる中、固定資産税の伸びなど市税の増が見込まれることから、将来に向けた人材や産業の育成、各拠点の整備などの環境の構築と地域経済の活性化への取り組みなど、子ども子育て支援をはじめ重点的な課題へ積極的に取り組む予算を編成しました。

また、将来世代に負担を先送りすることのないよう、引き続き健全な財政運営を継続するため、中長期的なコスト意識をもち、必要性が高い事業に重点を置いた予算とするため、事務事業の見直しやビルド・アヘッド・スクラップにより、効率的で実効性の高い行政運営を目指し、全部署において可能な限り経費の見直しを図りながら、「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として新たな取り組みを積極的に進めることとしました。

### ▽ 一般会計

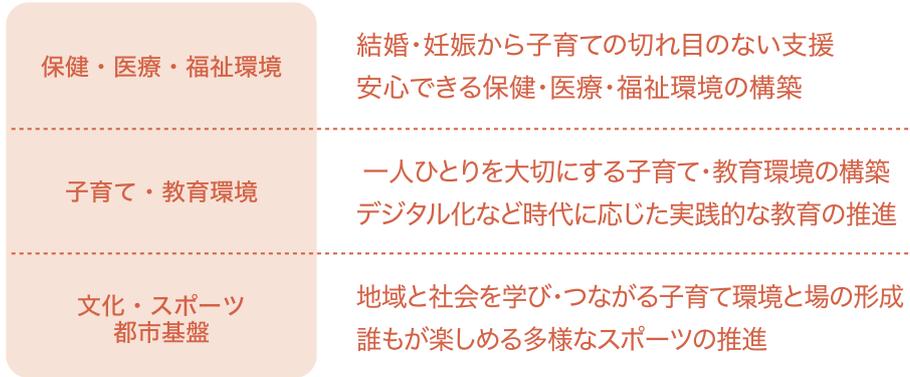
一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

令和5年度の一般会計予算は、332億7,000万円となっています。



# 笠間まると「子育て都市」宣言プロジェクト

少子化が一層進む中で、「社会全体で子どもを育てる」意識と取り組みの強化が必要となっています。本市では、2008 年度には「子育て支援」を重要事務として位置付けるなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援策を展開してきましたが、改めて「保育・教育環境」「保健・医療・福祉環境」「文化・スポーツ環境」にそれらを支える「都市基盤」まで、全分野が一体となった取り組みを推進し、令和5年度は、「笠間まると子育て都市」元年として再強化を図り、教育・保健分野の拡充に加えて経済的な支援の強化策を展開します。



## 生活応援

- 小学校入学**
  - **エコランドセル・プレゼント事業【新規】**  
スマートで軽いランドセル(PETボトル再生繊維)を支給
- 中学校入学**
  - **制服等購入支援事業【新規】**
- 小・中 共通**
  - **第三子給食費無償化事業【新規】**
  - **学校給食費負担軽減事業【新規】**
  - **オーガニック給食推進事業【新規】**  
学校給食における地産地消によるモデル校へのオーガニック給食の提供
- 高校 進学等**
  - **高校生等生活応援事業【新規】**  
新たな生活の準備費を支援
- 妊娠 出産**
  - **出産・子育て応援事業【新規】**  
妊娠届出時と出産時の給付や出産育児一時金の増額
  - **在宅育児応援事業【新規】**  
妊娠・出産による離職等をした在宅子育て世帯を支援

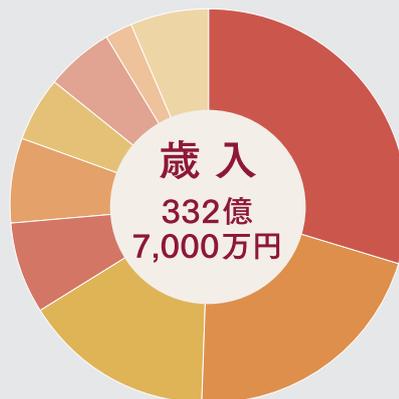
## 安心の醸成

- 妊産婦・小児等**
  - **医療福祉費支給制度所得制限の撤廃【新規】**
  - **母子保健事業(1か月児健診助成)【新規】**
  - **医療的ケア児保育支援事業【新規】**
  - **医療的ケア児学校訪問看護事業【新規】**

## 住環境の向上

- 集う・憩う場所の増加**
  - **笠間SC周辺リノベーション研究事業【新規】**  
既存の公園等に加え、商業施設とも一体となった笠間ショッピングセンターポレポレシティ(SC)周辺における場の創設に向けて研究を開始
  - **公営住宅子育て世帯支援事業**  
公営住宅(福原地区)に居住する子育て世帯の家賃等の実質無償化

市税	(30.0%)	99億9,362万2千円
地方交付税	(20.7%)	69億円
国庫支出金	(15.5%)	51億5,028万1千円
県支出金	(7.5%)	24億9,542万8千円
繰入金	(6.9%)	22億9,922万円
地方消費税交付金	(5.4%)	18億1,477万6千円
市債	(5.4%)	17億8,188万1千円
諸収入	(2.3%)	7億7,805万5千円
その他	(6.3%)	20億5,673万7千円



▽歳入  
自主財源のうち、市税は99億9,362万2千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は69億円、国庫支出金については51億5,028万1千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上しており、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。



# かさまち娘応援プロジェクト（女性活躍）

地域課題の解決、成長に向けて多様な人材の活躍が必要となる中で、本市では“いばらきダイバーシティ宣言”に登録するなど、その実現に向けた取り組みを推進しています。また市内では、陶芸や音楽をはじめ、さまざまな分野で多くの女性が活躍しています。

今後の地域経済と社会の持続・成長に向けて、さらなる女性の活躍は欠かせないことから、挑戦する女性を応援する「かさまち娘応援プロジェクト」を展開します。



## かさまち娘の活躍応援

事業を起こしたい

自分のお店を出したい

資格やスキルを身に付けて  
新たな仕事に就きたい

今の職場でステップアップしたい

### 女性のチャレンジを応援します。

#### 「かさまち娘応援窓口（仮称）」

- 意欲を持ってチャレンジする女性の相談に寄り添います。
- 頑張る女性のために必要な支援の窓口につなぎます。



#### 市の支援メニュー



##### 資格取得支援

就職したい、仕事のスキルアップをしたいなど、女性の新たなチャレンジを支援します。  
資格や技術を取得するための講座等受講費用等の一部を助成します。

##### 創業支援

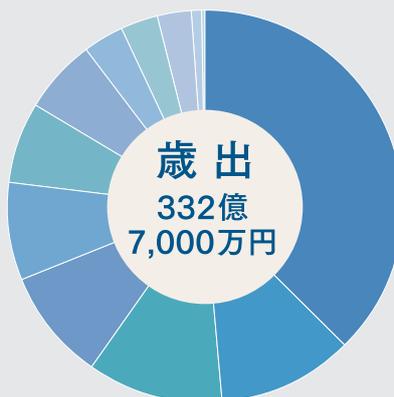
市内での創業支援補助への女性枠を新設。  
お店を開きたい、自分の会社を興したいなど、市内での創業を目指す女性を応援します。  
創業のスタートとなる創業事業計画作成支援を行います。また、創業に際して補助を行います。

##### その他 国や商工会などの支援

- 【働きたい女性を支援】  
ハローワークでの求職相談、教育訓練費給付制度など
- 【起業したい女性を支援】  
商工会による経営相談、各種融資制度など

市内で活躍する女性の情報、創業支援・資格取得支援事業などに関する情報など、女性の活躍を応援するサイトも構築します。

■ 民生費 (37.5%)	124 億 8,019 万 1 千円
■ 総務費 (11.3%)	37 億 7,612 万 9 千円
■ 公債費 (11.1%)	36 億 7,866 万 3 千円
■ 教育費 (9.1%)	30 億 3,507 万円
■ 衛生費 (8.0%)	26 億 6,322 万 7 千円
■ 土木費 (6.8%)	22 億 4,763 万 9 千円
■ 消防費 (6.0%)	19 億 9,269 万 8 千円
■ 諸支出金 (3.4%)	11 億 4,103 万 2 千円
■ 商工費 (3.0%)	9 億 8,877 万 6 千円
■ 農林水産業費 (2.9%)	9 億 8,128 万円
■ 議会費 (0.8%)	2 億 5,529 万 3 千円
■ その他 (0.1%)	3,000 万 2 千円



▽歳出

民生費には、障害者自立支援給付費、生活保護給付費、民間認定こども園及び保育所入園負担金、介護保険特別会計への繰入金などの経費として124億8,019万1千円を計上しました。

総務費には、企業立地促進事業補助金やふるさと納税の推進、マイナンバーカード交付などにかかる経費として37億7,612万9千円を計上しました。

教育費には、小中学校の施設管理や通学支援、小中学校の給食、図書館や公民館の運営などの経費として30億3,507万円を計上しました。



# 台湾交流・深化プロジェクト（笠間台湾交流事務所 5周年）

コロナ禍による制限下でも、オンラインでの観光や農産物などでの関係性を継続してきた台湾との交流について、人的交流の再開を契機としながら次のステージへと歩みを進めていきます。令和5年度は笠間台湾交流事務所の設立5周年を迎えることから、関連する記念事業をはじめとして、これまでの観光、農産物等の交流に加え、教育、行政等、分野の拡大を図りながら、連携と交流の効果を確実なものとする取り組みを展開します。



## 台湾交流事務所 5周年 連携と交流の拡大

【令和5年11月24日（金）記念式典の開催】

### ■ 台湾交流記念事業【新規】

笠間台湾交流事務所5周年を記念した訪問ツアーを実施します。

### インバウンド・アウトバウンド

### ■ 訪日団体旅行客促進事業【新規】

台湾からのインバウンド観光等の促進を図ります。

### 教育・文化

### ■ 中学生台湾派遣事業【新規】

市内中学生による訪問団を結成し、台湾の学生等との交流、文化等の体験をととして、グローバル人材の育成を図ります。

### ■ 歴史交流促進事業【新規】

日本と台湾の歴史を伝える飛虎將軍展の開催をととして、相互の理解と交流の拡大を図ります。

### ■ 教育交流拡大事業【新規】

台湾の大学と中学校等の語学交流、フィールドワークの受け入れ等をはじめとして、相互の人材育成と確保、成長につながる台湾の大学との連携、交流を推進します。

### スポーツ

### ■ スポーツ交流促進事業【新規】

スナッグゴルフや、プロスポーツ(野球)などによるスポーツ分野での交流拡大を図ります。

### 産業（笠間の栗）

### ■ 笠間の栗プロモーション事業【新規】

笠間の栗の高ブランド化に向け、台湾のホテルなどを中心とした利用等を促進し、収益性のある輸出拡大を図ります。

※外、台湾バナナの受入自治体の拡大など

### これまでの主な取り組み

2018

- ・笠間台湾交流事務所を開設
- ・台湾インバウンド推進協議会設立
- ・2020東京オリ・パラ競技大会ホストタウン登録 など

2019

- ・台湾ゴルフ選手団の事前キャンプ実施基本合意書の締結
- ・茶葉の貯蔵容器(笠間焼)の制作・販売
- ・食を通じた文化交流と発展的な連携強化に関する覚書の締結
- ・学校給食への台湾バナナの提供 など



2020

- ・台南市・笠間市相互紹介の展開
- ・学校給食へのマンゴー・文旦<sup>フンタン</sup>の提供 など

2021

- ・台湾人留学生による市内フィールドワーク など

2022

- ・笠間の栗ペーストの輸出
- ・いばらき大見本市(台北市内)への参加 など



教育・産業・行政  
相互が成長する新ステージへ

■ 扶助費 (23.6%)	78 億 4,669 万 2 千円
■ 人件費 (18.0%)	59 億 9,918 万 2 千円
■ 物件費 (16.4%)	54 億 6,721 万 7 千円
■ 公債費 (11.1%)	36 億 7,866 万 3 千円
■ 補助費等 (10.1%)	33 億 6,082 万 9 千円
■ 普通建設事業費 (9.5%)	31 億 5,274 万 9 千円
■ 繰出金 (8.4%)	28 億 31 万 3 千円
■ その他 (2.9%)	9 億 6,435 万 5 千円



▽ 歳出予算性質別内訳

## 1 新産業拠点整備の加速化 【拡充】



安居工業地域の企業立地および道路等の基盤整備について、整備を加速するとともに、地権者会と連携した企業誘致についても並行して推進します。

### ■ 安居工業地域整備推進事業【拡充】

委託料・工事費・公有財産購入費・物件移転等補償費



## 2 スマート公共交通モデルの形成 【新規・拡充】



日常生活および観光振興の双方の側面から、移動手段としての公共交通の重要性が高まる一方で、コロナ禍による利用者減少の影響も受け、路線バスをはじめとする市内の公共交通の維持は厳しい状況にあります。

令和5年度は、デマンドタクシーのサービス向上に向けた見直しを中心に、民間企業による事業との連携を図りながら、移動手段をつなぐMaaS (mobility as a service) の概念に基づく取り組みの実験などをとおして、生活者と来訪者の双方にとって利用しやすく、持続性のある公共交通網の再編に向けた取り組みを推進します。

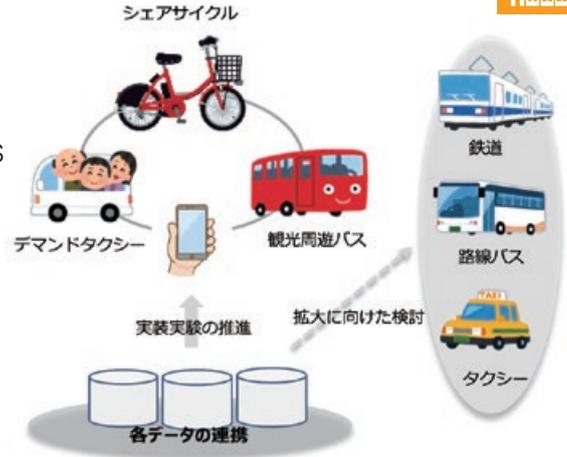
### ■ 公共交通対策事業【新規】

### ■ デマンドタクシーかさま運行事業【拡充】

### ■ 公共交通維持確保事業

### ■ 観光周遊バス運行協議会事業

### ■ 通学支援事業



## 3 北関東自動車道笠間PAスマートIC整備の促進 【拡充】



高速道路の利便性の向上、観光・産業を中心とした地域の活性化および災害・緊急時の対応強化を図るため、(仮称)笠間PAスマートIC整備事業を促進します。

### ■ 笠間PAスマートIC整備事業【拡充】

委託料・公有財産購入費・負担金・物件移転等補償費



## 市民一人当たりに使われるお金 >>>>> 451,621円

※令和5年1月31日現在人口 (住民基本台帳) 73,668人

<b>民生費</b> 高齢者・障がい者・児童・医療福祉など 169,411円	<b>総務費</b> 税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など 51,259円	<b>公債費</b> 市債の元金・利子の返済 49,936円	<b>教育費</b> 各小中学校や公民館・図書館の運営など 41,199円	<b>衛生費</b> 予防接種や各種健診、ごみ処理事業など 36,152円	<b>土木費</b> 市道の整備・補修や公園管理など 30,510円
<b>消防費</b> 消防団活動経費や消防・防災施設の整備など 27,050円	<b>諸支出金</b> 市立病院事業会計ほか企業会計への補助など 15,489円	<b>商工費</b> 商工業振興や観光施設管理など 13,422円	<b>農林水産業費</b> 農林業振興支援や農地の基盤整備など 13,320円	<b>議会費</b> 議会の運営など 3,466円	<b>その他</b> 予備費など 407円



道路や橋梁は、劣化等によりその安全性や快適性が確保できなくなるため、必要に応じた調査や定期的な点検が求められます。

市では、橋梁の適切な維持管理のために策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づいた定期点検と修繕を実施します。

- 道路メンテナンス事業(橋梁)
- 舗装修繕事業【新規】
- 自転車ネットワーク路線整備事業
- 踏切安全対策強化事業【新規】

安全で快適な道路環境



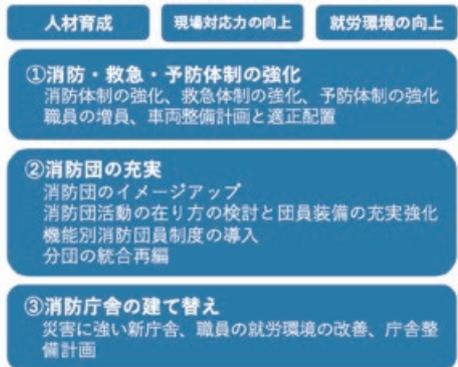
5 消防強靱化の推進 【新規・拡充】



消防を取り巻く環境の大きな変化に的確に対応するため、笠間市消防強靱化計画に基づき施策を推進していきます。

- 大型自動車免許取得事業負担金【新規】
- 救助工作車の更新【新規】
- 消防本部庁舎屋根・外壁改修工事【新規】
- 岩間消防署の整備【拡充】
- 消防団員確保の推進及び団員装備の充実【拡充】

笠間市消防強靱化計画の内容



まち 6 脱炭素先進都市への挑戦



脱炭素に向けた取り組みが本格化していく中、市としても積極的に脱炭素を進めるため、市民や事業者との連携強化を図りながら、地域脱炭素の早期実現に向けた取り組みを推進し、「環境先進都市かさま」を目指していきます。

- 脱炭素社会実現事業
- 公共施設の省エネ検討と再生可能エネルギーの導入
- 公用車の電動化、EV・HV車導入
- 生ごみ処理容器購入費補助金
- 環境負荷の少ないモビリティ(シェアサイクル)の運営拡大
- 防犯灯のLED化

地域脱炭素の実現を目指して



■ 企業会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
病院事業	1,053,622
収益的支出	1,001,028
資本的支出	52,594
水道事業	4,368,208
収益的支出	1,751,350
資本的支出	2,616,858
工業用水道事業	28,472
収益的支出	28,472
資本的支出	0
下水道事業	4,916,607
収益的支出	2,388,449
資本的支出	2,528,158
企業会計合計	10,366,909

■ 特別会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
国民健康保険	7,526,000
後期高齢者医療	1,077,000
介護保険	7,752,000
介護サービス事業	22,000
農業集落排水事業	
特別会計合計	16,377,000

一般会計	332億7,000万円
特別会計	163億7,700万円
企業会計	103億6,690万9千円
予算総額	600億1,390万9千円

▽ 企業会計

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として運営していく会計のことです。本市では、病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の4会計となります。

▽ 特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合、保険料や使用料などそれぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。令和5年度から、農業集落排水事業が企業会計へ移行することから、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計の4会計となります。

## 7 廃棄物処理体制の強化【新規】



本市のごみの中間処理を行っている市環境センターは、供用開始から30年が経過し、老朽化への対応が課題となっていることを踏まえ、新たなごみ処理施設を整備するための基本計画や事前調査、施設の発注図書作成や事業者の選定などの準備を進めます。

また、最終処分場については、諏訪クリーンパーク第1期分の埋立が完了し、第2期分が供用を開始することに伴い、稼働する浸出水処理施設の運営事業を行っていきます。



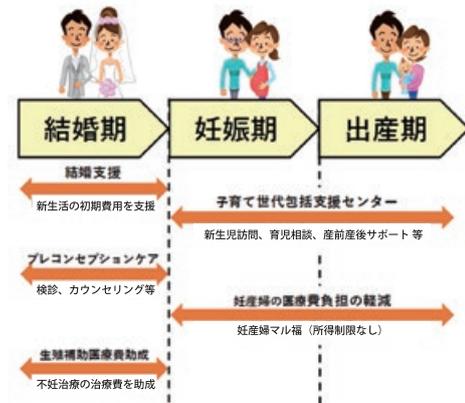
- 新清掃処理施設整備事業
- 最終処分場運営事業(第2期)【新規】

## 8 結婚・妊娠・出産期の一体的支援の推進【新規・拡充】

(笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクト)



少子化が進む中、結婚・妊娠・出産期におけるさまざまな不安や経済的負担に対して、安心して子どもを産み育てやすい環境のさらなる向上を図るため、結婚から妊娠・出産に至る各場面において、相談や各種助成などの支援を行います。



- 結婚支援事業【拡充】
- 新生活の初期費用を支援
- 子育て世代包括支援センター事業【拡充】
- 新生児訪問、育児相談、産前産後サポート等
- 生殖補助医療費等助成事業【新規】
- 検診、カウンセリング等
- 妊産婦の医療費負担の軽減
- 妊産婦マル福(所得制限なし)
- 生殖補助医療費助成
- 不妊治療の治療費を助成

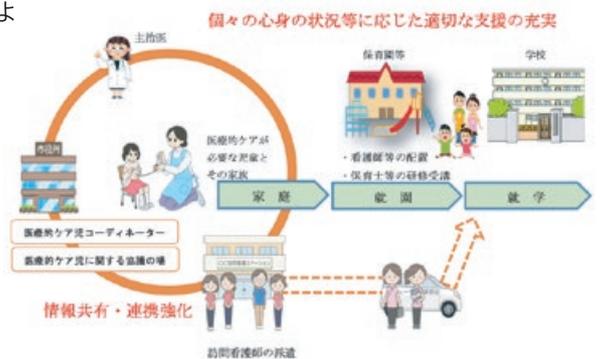
## 9 安心できる子育て環境の充実【新規・拡充】

(笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクト)



さまざまな困難に直面している子どもたちへの支援のため、子どもたちの情報を共有するシステムを構築するとともに、居場所の提供や医療的ケア児の受け入れを可能とするための支援体制を整備し、誰もが安心して過ごすことができる社会の実現を目指します。さらに、児童へのフッ化物洗口の実施により、むし歯予防の環境を整備し、健康の保持・増進に取り組みます。

### 医療的ケア児保育支援事業 / 医療的ケア児学校訪問看護事業



- 医療的ケア児保育支援事業【新規】
- 医療的ケア児学校訪問看護事業【新規】
- 子ども総合相談支援事業【拡充】
- 子どもの居場所拠点運営事業【新規】
- 歯科保健推進事業【拡充】
- 小学校口腔衛生推進事業【新規】

## 10 幼児保育・教育環境の充実【新規・拡充】

(笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクト)



保育需要の増加とニーズの多様化に対応するため、保育体制の強化や保育士の確保、離職防止の事業を実施します。また、民間認定こども園の整備に対する支援を行い、保育環境の整備を進めます。

- 障害児保育対策事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 延長保育事業【拡充】
- 病児保育事業・地域医療センターかさま病児保育事業
- 民間保育所等乳児等保育事業
- 保育対策総合支援事業【拡充】
- 就学前教育・保育施設整備交付金事業【新規】

地域における人のつながりや家族構造の変化と多様化などにより、障がい者・高齢者・生活困窮者・ひきこもりの方など、さまざまな生活課題を抱え、生きづらさを感じている方が増加する中で、さまざまなニーズに対し、きめ細かく対応していくための相談・支援体制強化や受け皿づくりが求められています。

これらの複雑化・複合化する地域課題に対応するため、新たに「一時生活支援（生活困窮者への住居支援）」や「医療的ケア児への支援」に取り組み、関係機関とのさらなる連携の充実を図ります。

- 一時生活支援（生活困窮者への住居支援）【新規】
- 医療的ケア児への支援（障害者地域生活支援事業）【新規】
- ひきこもりサポート事業

令和5年10～12月に開催される茨城デスティネーションキャンペーン（茨城DC）の開催に合わせて、笠間市への訪問、滞在期間の延長、地域内の周遊につながる新たな観光パンフレットを作成するほか、笠間の秋を満喫するツアー等を実施します。

また、笠間台湾交流事務所を中心に、インバウンド誘客促進や台湾との連携交流をさらに進め、事務所設立5周年を記念した台湾向けアウトバウンドツアーを実施します。

- 茨城DC特別企画の展開【新規】
- 台湾交流事業
- 台湾交流事務所記念事業【新規】



B.B.BASE/バス



春風萬里荘



台湾交流

## 茨城DCスケジュール



観光関連施設大規模改修を計画的に進めます。令和5年度は、クラインガルテン改修設計、笠間工芸の丘改修、あたご天狗の森公園リニューアル（再整備）を実施し、交流拠点の魅力向上を図っていきます。

- クラインガルテンの施設環境整備【新規】
- 笠間工芸の丘の改修【新規】
- あたご天狗の森公園の再整備【新規】



令和4年に誕生250年を迎えた笠間焼の記念事業を今年度も実施していくとともに、この節目を契機に、産地の成長戦略として「販路開拓」「陶芸家の育成」に重点を置いた支援策を展開します。

「販路開拓」では、意欲のある作家・団体等を支援するための補助制度を創設します。

また、令和2年から3か年に実施した「JAPANブランド推進事業」では、イギリスをターゲットにした販路開拓を進めてきましたが、引き続き笠間焼協同組合が主体となり、3年間の実績を生かしながら事業を継続していきます。

- 販路開拓への支援【新規】
- 陶芸家の育成支援
- 産地振興への支援

## 販路開拓

・意欲ある作家・団体等への支援

## 陶芸家の育成

・将来の産地をけん引する人材の育成

## 産地振興

・陶炎祭の支援  
・250年記念事業の実施

笠間焼誕生250年成長戦略の推進

「笠間の栗」に関わるすべての方の所得向上を目指し、持続可能な「笠間の栗」産業の強化を図ります。

■ 日本一の栗産地づくり推進補助事業

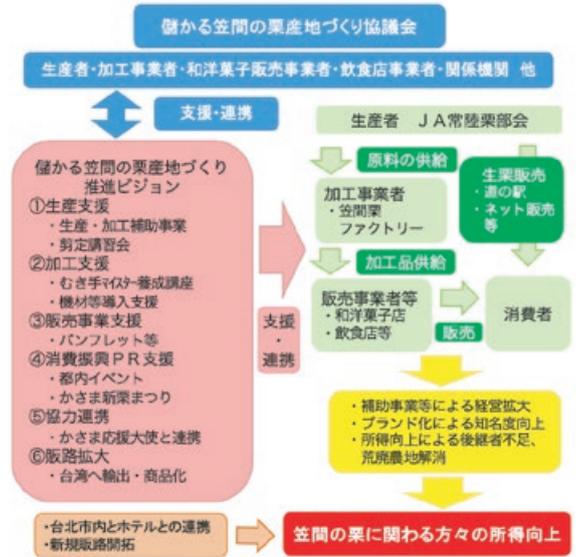
安定した「笠間の栗」の生産維持・農地拡大、加工事業に取り組む生産者を支援します。

■ 儲かる笠間の栗産地づくり協議会の運営

かさま新栗まつりの開催やPR活動の実施、剪定講習会やむき手マイスター養成講座などの開催、笠間市農業公社や民間事業者と連携した新たな商品開発によるブランド力の強化に取り組みます。

■ 「笠間の栗」プロモーション事業(台湾5周年)

台北市内ホテルとの連携による「笠間の栗」の商品化の継続、渋皮煮などの新たな栗加工品の輸出、他菓子店舗での加工品PRによる新規販路の開拓を行います。



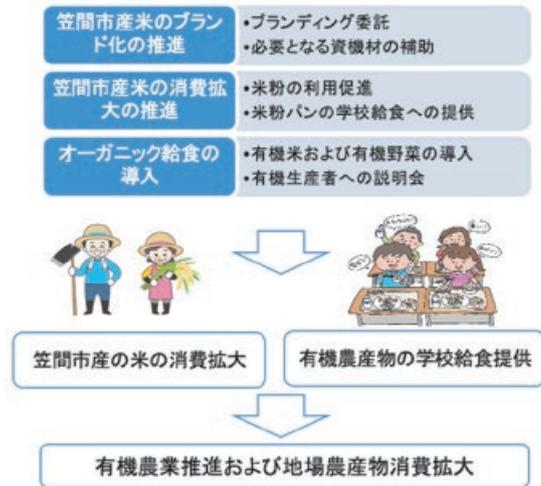
主食用米の高付加価値化につなげるため、米コンテスト参加による高評価を得る取り組みや販促物の制作・プロモーションの実施など、販路拡大に努力する米生産者に対し、必要な資機材費用の補助や基礎知識を学べる講座から販売まで一貫性のあるブランディングを支援し、高価格販売を目指します。また、米の消費拡大を図るため、笠間市産の米を使った米粉パンを学校給食で提供します。

オーガニック給食のモデル校1校を選定し、有機米（特別栽培米を含む）・有機野菜を学校給食に提供します。

■ 笠間市産米のブランド化の推進

■ 笠間市産米の消費拡大の推進

■ オーガニック給食の導入



17 笠間の学びイノベーションの推進【新規・拡充】

笠間の将来を担う子どもたちが、社会の変化に主体的に向き合い、自ら未来を切り拓いていく力を身につけることを目標に、外部人材等との連携による新たな「学び」を展開します。

■ 民間連携等学力向上事業【新規】

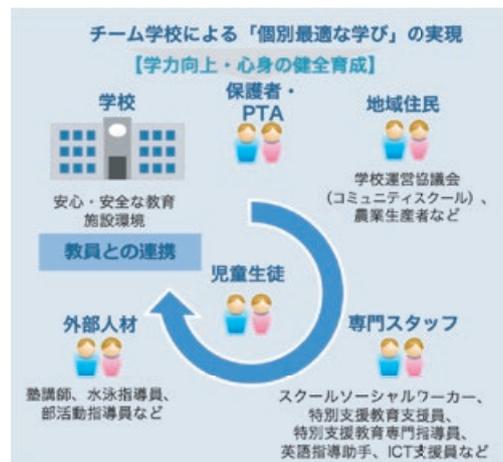
■ 地域部活動推進事業【新規】

■ スクールソーシャルワーカー配置事業【拡充】

■ 学校プール民営化事業(小学校・中学校)【拡充】

■ 北川根小学校校舎整備事業【新規】

■ 【再掲】オーガニック給食の導入【新規】



## 18 日本一の公民館・図書館サービス事業の充実【拡充】

ひと

(笠間まると「子育て都市」宣言プロジェクト)



市立公民館では、「かさま志民大学」「かさま子ども大学」などの各講座にSDGsの目標を設定し、人生100年時代において市民の誰もが生涯にわたり学習する機会を提供します。

市立図書館は、人口8万人未満の市区の公共図書館のなかで、資料の貸出数が10年連続日本一になりました。今後も蔵書資料や電子書籍の充実を図り、利用しやすく満足度の高い図書館を目指します。

- 公民館講座運営事業
- 図書館サービス事業
- 電子図書館運営事業【拡充】

### 生涯にわたり学び続けるまち



## 19 歴史・芸術・文化資源の継続と活用推進【新規】

まち

(笠間まると「子育て都市」宣言プロジェクト)



本市には、笠間焼をはじめ、日本のみならず世界に誇る伝統工芸、歴史と風土が育んだ文化芸術資源が数多く存在します。それらを気軽に親しむ機会の創出を図り、豊かな感性を養うとともにそれらを継承し、郷土を愛する意識の醸成を図ります。

地域の文化資源活用により文化交流を培うことで、人が集い賑わう経済循環をもたらし、文化振興と地域活性化を目指します。

- 富田家住宅の利活用・情報発信事業【新規】
- 大日堂保存活用事業
- 日本遺産推進による活性化
- 笠間城跡の国指定史跡への推進
- 筑波海軍航空隊展示運営事業
- 全国子ども陶芸展推進事業
- 全国子ども絵画コンクールinかさま
- 芸術鑑賞事業



富田家住宅



大日堂

## 20 「スポーツシティ かさま」の強化【新規・拡充】

ひと

(笠間まると「子育て都市」宣言プロジェクト)



本市のスポーツ資源や特徴ある観光資源を活かし、スポーツの力で地域の諸課題の解決につなげる「スポーツ健康まちづくり」に取り組みます。

また、スポーツのまちとして、市のイメージアップと認知度向上につなげるため、一般社団法人 笠間スポーツコミッションを核とし、地域経済の活性化に向け「スポーツシティかさま」を推進します。

- (一社)笠間スポーツコミッションの体制強化【拡充】
- ハーフマラソン大会の魅力向上
- パラスポーツ啓発の普及促進
- 子どもスポーツ能力向上の支援
- 台湾交流・深化プロジェクト【新規】



ひと

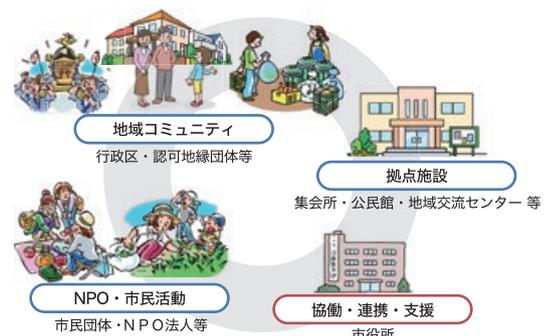
まち

## 21 行政区・地域コミュニティの再生【拡充】

地域と行政をつなぐ組織として重要な役割を担う行政区への加入を促進します。行政区の課題解決を図るため、行政区運営のアドバイザーを設置します。

また、市民活動に対する支援、活動拠点となる地域交流センターの管理運営など地域活性化の促進を図ります。

- 行政区事務
- 行政区加入促進【拡充】
- 地域交流センターの運営【拡充】
- 市民活動への支援(市民活動助成制度)



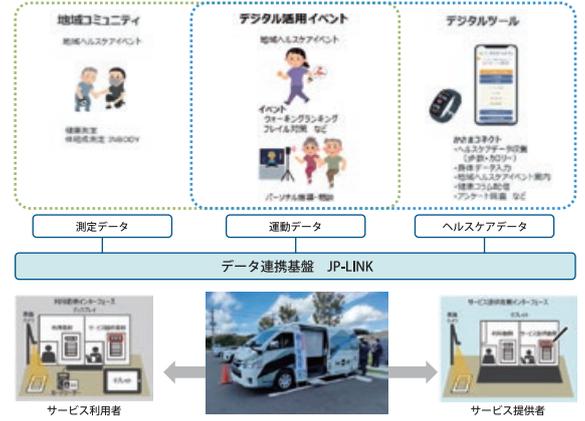
## 22 笠間版デジタル田園都市構想の推進 【拡充】



関係人口の確保や移住の促進を含め、安心できる地域での暮らしと持続的な地域経済環境の構築を図るため、笠間版CCRC推進事業や笠間版デジタル田園都市事業によるモデル的な取り組みを実施しています。

居住段階となった生涯活躍のまちの形成に継続的に取り組むとともに、デジタル技術の活用による市民生活に密着したサービス向上を図る福原地区をモデルとするデジタル田園都市の形成を、スマートシティ形成の取り組みと連動して推進します。

- 笠間版デジタル田園都市形成事業【拡充】
- 笠間版CCRC推進事業



## 23 行政改革・行政経営人材の育成 【拡充】

時代の変化に合わせた行政運営を推進するとともに、次世代を担う人材を育成します。

- 行政改革推進事業
- 海外地方自治体職員協力交流事業【拡充】
- 人材育成研修の推進
- 職員採用試験事務

## 24 自主財源確保策の強化 【拡充】

- ふるさとづくり寄附金制度推進事業【拡充】
- 企業版ふるさと納税の活用推進
- 収納対策事務



## 25 デジタル・トランスフォーメーションの推進 【新規】【拡充】

「笠間市第2次デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づき、新たなサービスや価値を生み出せる職員の育成を重点とし、DXの取り組みをさらに進め、デジタル社会の実現に努めます。

- 新しいサービスや価値を生み出す職員の育成
- 手の中にある市役所の実現
- デジタル・デバイド対策の推進
- デジタル社会の基盤づくり・環境づくり
- 地域のデジタル化

